

次なる災害に備え「平成27年関東・東北豪雨災害」でTEC-FORCE活動を行った防災協定会社との意見交換会を行いました。

9月10日～9月18日までの8日間、鬼怒川堤防決壊現場でのTEC-FORCE活動をした3社（白石建設工業株式会社、青葉工業株式会社、株式会社大下組）に対して、四国技術事務所長から感謝の手紙を手渡した後意見交換会を行いました。

上記3社には、台風18号から変わった低気圧により関東・東北に大雨をもたらした災害に対して、防災協定に基づく支援活動をお願いしました。



「次なる災害に備えて意見交換」

夜間も連続で排水活動



9月10日午後からの出動要請に対して迅速に対応してもらい、翌日（9月11日）の午前中には現地に到着し、支援活動を全国に先駆けて実施することができました。

3社は、8日間に及ぶ長期の活動中も精力的に支援活動を実施し、加えて作業の合間にボランティア活動や支援物資提供活動などを行うなど、受援地整のみならず地元住民からも感謝されました。

「意見交換会」では、TEC-FORCE活動の手本となるような行動に感謝をすると共に、トイレや待機時間中の被災地の下見の必要性、現地活動に有ったほうがいい機材（自転車、スコップ、携帯電話充電用インバータ他）などの貴重なお話を聞く有意義な会になりました。

被災現場でのゴミ出し支援活動



ポンプ設営作業



ホース設営作業



※添付の写真は、活動した会社より提供されたものです